

いこもの風

瀬戸内町立伊子茂小学校 児童数						総計	平成28年 11月25日現在
1年	2年	3年	4年	5年	6年	8名	
0	1	1	2	4	0		

【11月号】 平成28年11月28日発行 伊子茂小学校 TEL76-0018

「無限の可能性に向かって」 校長 田中 竜太

先日、奄美パーク会館15周年を記念した講演会を聴く機会に恵まれました。ゲストは、リオオリンピックで活躍した女子レスリングのメンバー、栄和人監督、吉田沙保里・登坂絵莉・土性沙羅選手とあって、奄美パーク始まって以来ではないかと思われる観客で超満員。四人が登場すると大きな歓声が沸いていました。言うまでもなく栄監督は郷土奄美、笠利町の出身。テレビで馴染みの通り、島口も交えながら、ファンサービス旺盛の人柄が発揮された講演会となりました。その中で「幼いころ取り組んでいた奄美の相撲がレスリングの土台となった。自分もそうであったように、身近な人の活躍を見て、奄美の子供たちが『自分たちにもできるのではないか。』という夢を抱いてほしい。」ということをお話されました。



また瀬戸内町出身ということでは、篠川校区出身の明生関が、今回の九州場所で十両に昇進し15日間健闘しました。これまた10月末に来町し、パレードや祝賀会で子供たちに勇気を与えてくださったことは記憶に新しいところです。本校でも全校朝会で紹介し、子供たちの励みとしました。まだ、21歳、前途有望な若武者の今後の活躍が大いに楽しみです。

更に、職員室前の廊下には本校ゆかりの著名人として芥川賞作家の又吉直樹さん、歌者の朝崎郁恵さん、歌手のUAさんを紹介した掲示板もあります。グローバル化が進む中、本校の子供たちからも、世界で活躍する人材が輩出できるよう、「校長先生の話」の中で折に触れ刺激を与えていこうと考えているところです。そのためには、生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成が、本校教育の使命であることは言うまでもありません。

〈いつまでも残したい島口、伝統芸能〉

10月29日(土)古仁屋小学校を会場に、子ども島口・伝統芸能大会が開催されました。この催しは郷土瀬戸内町に残る島口・伝統芸能を子供たちに大切に継承してもらおうことを目的としたもので、今回で11回目を迎えます。本校は、学習発表会でも見ていただいた島口劇「さる長者」を演じました。島口指導に当たっては、伊子茂区長である◇◇◇◇様に全面的な協力を得て、みるみる上達することができました。衣装や動作も内容に合わせて工夫したことにより、当日は堂々とした演技で会場から万来の拍手を浴びていました。演技前、緊張の色が隠せなかった表情に、終了後は満足感が漂っていました。



他の子ども会からも、島唄や三味線演奏を中心に各地域にちなんだ様々な演目が披露されました。特に、文化財として国や県の指定を受けている「諸鈍シバヤ」や「油井の豊年踊り」(写真)は、さすがに見応えのある演技でした。この素晴らしい催しが未永く継続され、瀬戸内町の子供たちが島口、伝統芸能の継承の中心となってくれることを願っています。会場まで駆け付けてくださった保護者・地域の皆様、アリガトサマリヨ〜タ。



〈地域と共に文化の祭典〉

11月1日(火)〜7日(月)は「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」、本校でも地域と連携した多彩な活動を実施しました。期間中に自由参観を実施し、来校者に授業の様子を自由に見ていただきました。また、学校評議員との協議や交流給食も実施しました。

そして6日(日)には、地域と合同の学習発表会を開催しました。子供たちはかねての学習の成果を、音読や合唱奏、プレゼンテーション、島口劇等で披露しました。また、保護者・地域からはフラダンス、ウクレレーズ、◇◇◇◇様の島唄等で華を添えていただきました。また、会場には町制60周年記念ということもあり、先日刊行された写真集「加計呂麻」も子供たちや地域の皆様の作品とともに展示され、懐かしく見入っている姿がありました。皆様のお力添えにより、素晴らしい学習発表会ができたことを、心より感謝申し上げます。



【12月の行事予定】

- 2日(金) 地域清掃ボランティア
- 4日(日) 人権週間(〜10日)
- 10日(土) ロードレース大会、学級PTA
- 18日(日) 家庭教育学級「もちつき&親子読書会」
- 22日(木) 終業式
- 23日(金) 天皇誕生日
- 26日(月) 冬休み(〜1/9)
- 28日(水) 仕事納め
- 31日(土) 大晦日



〈長生きしんしょ〜れ〉

11月22日(火)5・6校時、学校に隣接する特別養護老人ホーム加計呂麻園を訪問し、入・通所者の方々と交流を深めました。

初めに、館内を見学、入所者の方々が生活しやすいように、様々な工夫がしてありました。車椅子の方が多いためか、ローカにゆったりとしたスペースが確保されていました。次にデイサービスで通所されている方々との交流。まずは学習発表会で演じた様々な演目を披露、終了するごとにたくさんの拍手をいただきました。演技の後は、肩叩き。ぎこちない手つきながら、心を込めて叩かせていただきました。最後は、円形に配置した椅子に座り、大きなボールをパスで何回続けられるかのレクリエーション。後半では通所者の方々と息を合わせ、100回を超えることができました。閉会式では「長生きしんしょ〜れ」の横断幕を広げ、交流を終了しました。核家族化が進み、高齢者と触れ合う機会の少ない子供たちにとって、貴重な体験の場となった交流会でした。

